

平成16年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	関西国際大学	整理番号	1-4-002
応募テーマ	主として学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	大学のユニバーサル化と学習支援の取組		
申請単位	大学全体		
申請担当者	山下 泰生		
<p>(取組の概要)</p> <p>平成10年度開設した本学の教育目標は、自律できる人間、社会に貢献できる人間、世界性をもった人間の育成である。高等教育のユニバーサル化が進むなか学力が不十分な学生が増加しているが、本学では教育目標達成のために、「GPAによる成績評価制度」と「学習支援センターを拠点とする学習支援システム」を導入した。</p> <p>学習支援システムは、センターで実施する専任教員等による「個別相談」を核に、そのときどきの学生のニーズに対応する「単位化されない自由な講義(ショートプログラム)」と「単位化された正課以外の講義(特別研究)」等により構成されている。実施に際して「学生ニーズの把握→実施→評価→見直し」により、毎年度内容を見直しながら、発展させている。その成果は、センター利用者のGPAの向上、他大学による「学習支援センター」の視察及び本プログラムで開発した初年次学習用教材「知へのステップ」が88大学で採択されていることなどにより現れている。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、多くの個別の学生に対しての相談を中心として、単位化されない科目(ショートプログラム)の履修とともに、単位化された正課以外の科目(特別研究)の履修を勧めて、学生の自立的学習を促すものです。また教員に対してのFDなどによって教育の効果を高め、学生の学ぶ力を育てるというように多方面からの取組がなされています。その結果、学生の相談件数は着実に増加し、またショートプログラムの利用者と特別研究の参加者も年々増加しています。特に特別研究の参加者の大幅な増加は、それが高い効果を上げていることを示しているといえましょう。</p> <p>高等教育のユニバーサル化の最大の課題は、学生の学習への動機づけをどう行ない大学在学中に社会貢献のできる力量をどう育成するかということですが、このことを全学あげての個別対応を中心としたシステムにより、専門スキルの他に自律性、貢献性、国際性を高めることを目標にした取組が着実な成果を上げつつあることは、ユニバーサル化がますます進む中で、同様な課題に当面する他の大学に対しても非常に有益なモデルを提供しています。</p> <p>以上の評価を踏まえ、全体として極めて優れた特色があり、他の大学に対して十分参考になる事例として認められました。</p>			